香川高等専門学校 開講年度 令和06年度 (2					工学リテラシー	
242101			科目区分	専門 /	必修	
講義・実験・	実習		単位の種別と単位数	カ 履修単	位: 2	
機械工学科(	2019年度以降2	入学者)	対象学年	1		
通年			週時間数	2		
項目毎に資料	等を配布					
担当教員 村上 幸一,雞元 洋一,石井 耕平,德永 秀和,多川 正,林 和彦,向谷 光彦,柳川 竜一,野田 数人,前田 祐作,荒牧 憲隆,木村 祐人 ,山下 智彦,川上 裕介						
到達目標						
1. 物理やアースサイエンス,ライフサイエンスの基礎的内容を理解することができる。 2. 図学や製図の基礎を理解することができる。誤差,有効数字などデータの取り扱い方の基礎を理解することができる。 3. 情報社会の特徴と問題について理解し,情報リテラシーに関する知識を身に付ける。 4. 簡単なPC操作および知的財産に関する基礎知識を身に着ける。 5. 自然災害の発生原因とその対策,環境工学の概要と技術者が備えるべき倫理について理解できる。 6. Society5.0に対応する数理・データサイエンス・AI教育分野の基礎知識を身につける事が出来る。						
	242101 講義・実験・ 機械工学科( 通年 項目毎に資料 村上幸一、雛子 ,山下 智彦,川	242101 講義・実験・実習 機械工学科(2019年度以降) 通年 項目毎に資料等を配布 村上幸一雛元洋一,石井耕 ,山下 智彦,川上 裕介	242101 講義・実験・実習 機械工学科(2019年度以降入学者) 通年 項目毎に資料等を配布 村上幸一,雛元 洋一,石井 耕平,徳永 秀和,多川」 ,山下 智彦,川上 裕介	242101 科目区分 講義・実験・実習 単位の種別と単位数 機械工学科(2019年度以降入学者) 対象学年 通年 週時間数 項目毎に資料等を配布 村上幸一,雛元 洋一,石井 耕平,徳永 秀和,多川 正,林 和彦,向谷 光彦,山下 智彦,川上 裕介	242101 科目区分 専門 / 講義・実験・実習 単位の種別と単位数 履修単位機械工学科 (2019年度以降入学者) 対象学年 1 週時間数 2 項目毎に資料等を配布 村上 幸一,雛元 洋一,石井 耕平,徳永 秀和,多川 正,林 和彦,向谷 光彦,柳川 竜一,里,山下 智彦,川上 裕介	

## ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安(優)	標準的な到達レベルの目安(良)	未到達レベルの目安(不可)
物理やアースサイエンス, ライフ サイエンス	力の図示、分解、合成、つりあい の応用問題が解ける。	力の図示、分解、合成、つりあい の標準問題が解ける。	力の図示、分解、合成、つりあい の問題が解けない。
図学や製図とデータの取り扱い	誤差を考慮した実験データの扱い方を身につけている。 ある立体を,第三角法および等角投影法で示すことができる。 複雑な形状を持った部品を図示でき,必要な寸法を示すことができる。	誤差を考慮した実験データの扱い 方を把握している。 第三角法および等角投影法で示された立体物の形状を把握すること ができる。 片側断面図や隠れ線を用いて描かれた図面の形状を把握でき,記載 されている寸法内容を理解できる。	誤差を考慮した実験データの扱い 方を把握していない。 第三角法および等角投影法で示された立体物の形状を把握すること ができない。 片側断面のや隠れ線を用いて描かれた図面の形状を把握でき,記載 されている寸法内容を理解できない。
情報倫理や情報リテラシー	情報社会の特徴と問題について詳細を理解している。 各種情報リテラシーに関する知識 について詳細に理解している。	情報社会の特徴と問題について概要を理解している。 各種情報リテラシーに関する知識 について概要を理解している。	情報社会の特徴と問題について概要を理解していない。 各種情報リテラシーに関する知識 について概要を理解していない。
簡単なPC操作と知的財産	PCの基本的な操作方法及び基本的なソフトウェアの扱い方や実験データの扱い方を身につけている。 知的財産に関する基礎知識について詳細に理解している。	PCの基本的な操作方法と基本的な ソフトウェアの扱い方や実験デー タの扱い方を知っている。 知的財産に関する基礎知識につい て概要を理解している。	PCの基本的な操作方法と基本的な ソフトウェアの扱い方や実験デー タの扱い方を知らない。 知的財産に関する基礎知識につい て概要を理解していない。
防災や環境倫理	自然災害の発生要因とその対策について自ら説明できる。 インフラの整備とその維持管理について自ら可専門分野に関する内容について説明できる内容について説明できる。 環境工学の概要と技術者が備えるべき倫理について説明できる。	環境工学の概要と技術者が備える べき倫理について理解できる。 インフラの整備とその維持管理に ついて理解できる。 自然災害の発生要因とその対策に ついて基本的な考え方が理解できる。	環境工学の概要と技術者が備える べき倫理について理解できない。 インフラの整備とその維持管理に ついて理解できない。 自然災害の発生要因とその対策に ついて基本的な考え方が理解でき ない。
数理・データサイエンス・AI教育	データ・AI利活用における具体的な事例を理解し説明することが出来る。	データ・AIが我々の身近な生活に 関わっている事を理解している。	データ・AIが我々の身近な生活に 関わっている事を理解していない 。

## 学科の到達目標項目との関係

教育	_	<b>⊤</b> ⊶

ンハーン・ング	
概要	地球的視点で物事を考える基礎的な能力として物理やアースサイエンス,ライフサイエンスの知識を習得させる。また図学や製図の基礎知識やコンピュータの基本操作やデータの取り扱い,情報倫理や情報リテラシー,環境や防災に関する知識など様々な工学分野のリテラシーを幅広く学ぶ、また,知的財産権に関する知識を深め,チームで発明を行うなどチームワークカやコミュニケーション能力を向上させる。
授業の進め方・方法	オムニバス形式で授業や実習を行う。項目の内容によって、4クラス合同,2クラスずつに別れて実施する場合があるので、各クラスのスケジュールを確認して実施する事。
	1.特別な理由がない場合を除き,授業には毎回出席すること。2.レポートを提出期限内に提出すること。 上記1,2に不足がある場合,単位認定することができないので注意すること。この科目は,本年度内及び進級後に単位 追認試験が実施できません。 やむを得ず欠席した場合は,できるだけ早く授業担当教員へ連絡を取り支持を仰いで下さい。

## 授業の属性・履修上の区分

☑ アクティブラーニング	☑ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	☑ 実務経験のある教員による授業
--------------	----------	----------	------------------

г		
1 -	应₩計	픎
1-	To ∓E⊓	ΙШΙ

	<b>大大町</b> 日							
		週	授業内容	週ごとの到達目標				
		1週	情報リテラシー1 ガイダンス	情報基盤センター利用方法、e-learning利用方法				
		2週	情報リテラシー2 情報社会の特徴と問題 (K-SEC 10章)	サイバー犯罪、ネット依存、ディジタルデバイド、情報モラルについて理解する。				
<del>松</del> 加	1.00	3週	PC基本操作 1 PCの基本操作と基本的なソフトウェアの扱い方	PCの基本操作を知っている。				
前期	1stQ	4週	PC基本操作 2 実験データの取り扱い	PCでの実験データの取り扱い方を知っている。				
		5週	PC基本操作3 様々なデータの取り扱い	PCでの様々なデータの取り扱い方を知っている。				
		6週	知財 1 発明と知的財産の概要	発明と知的財産について理解する。				

### 2 1982 1985 1985 1985 1985 1985 1985 1985 1985												
PSI			7週					発明と知的財産について理解する。				
2mg			8週					発明と知的財産について理解する。				
10回   接勢2 (特別)   自然災害の事例と対処方法について説明できる。   自然災害の事例と対処方法について説明できる。   自然災害の事例と対処方法について説明できる。   12回   建設 4 (インフラの整備と補持管理)			9週	建設 1 (防災) 自然災害の発生メカニズム			自然災害の発生メカニズムを説明できる。					
2ndQ   1/18   自然災害の事例と対処方法			10週	建設 2 (防災)			自然災害の事例と対処方法について説明できる。					
2-ndQ			11週	建設3(防災)			自然災害の事	例と対処方法に	ついて説明できる。			
13週   操程5   推建5   推建			12週				インフラの整備とその維持管理法について説明できる					
14週   建設6 (以底、倫理)		2ndQ	13週	建設5環境工	 (環境、倫理) 学			環境工学の概要について説明できる。				
15週   有効な字の取り扱い   行きる。   技術と認定の扱い方を説明できる。   16週			14週	建設6					技術者が実践す	べきことついて説明でき		
1週			15週	有効数:	字の取り扱い	١٢						
1週			16週									
Yes   Act   Ac			1週	インタ・		<sup>镁々なサービス (K</sup>	-SEC	ネットワークを画共有などに	機器、電子メー ついて理解する	·ル、WWW、SNS、動 。		
1			2週			(K-SEC 9章)			の種類、情報化	と社会の変化などについ		
1			3週			1章)			ライバシー、無	緑LANについて理解す		
1.5位 情報社会と技術者(K-SEC 13章) して理解する。   1.5位		3rdQ	4週			12章)		ウィルスの種 る。	類、ウィルス対	策、認証について理解す		
AI2   数理・データサイエンス・AI教育の概要を理解する。   8週   図学基礎 投影法   任意の立体における第三角法による投影図を作図できる。   20週   製図基礎 見えない部分の示し方   片側断面図、隠れ線を用いた作図ができる。   10週   製図基礎 寸法の示し方   片側断面図、隠れ線を用いた作図ができる。   10週   製図基礎 寸法の示し方   片側断面図、隠れ線を用いた作図ができる。   11週   アースサイエンス・ライフサイエンス   ライフサイエンス・アースサイエンスの基礎を理解する   13週   アースサイエンス・ライフサイエンス   ライフサイエンス・アースサイエンスの基礎を理解する   13週   アースサイエンス・ライフサイエンス   ライフサイエンス・アースサイエンスの基礎を理解する   14週   ガガダンス、文字と単位、さまざまな力、力の図示   さまざまな力、力の図示の問題が解ける   15週   物理2			5週	情報倫理	理5 会と技術者 (K-SEC	13章)		情報社会の未来、個人情報保護法、技術者の仕事につ				
後期   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日			6週									
後期   日本			7週	AI2								
10週   製図基礎 寸法の示し方	後期		8週	投影法								
10回   製品産駅 引送の下の方   に書くことができる。			9週	製図基	<b>夢 見えない部分の</b> 記	まし方 ニュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		片側断面図,	隠れ線を用いた	作図ができる。		
4thQ   12週			10週	製図基礎	製図基礎 寸法の示し方					ことができる。また, 実際		
4thQ			11週	アース・	アースサイエンス・ライフサイエンス 1			ライフサイエ る	ンス・アースサ	イエンスの基礎を理解す		
13週		4thO	12週	アース・	アースサイエンス・ライフサイエンス 2			ライフサイエ る	ンス・アースサ	イエンスの基礎を理解す		
14回		4thQ	13週	アース・	アースサイエンス・ライフサイエンス 3			ライフサイエ る	ンス・アースサ	イエンスの基礎を理解す		
15世   力の分解、合成、力のつりあい   る。   16週   モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標   分野   学習内容   学習内容の到達目標   到達レベル   授業週   評価割合   試験   発表   レポート   小テスト   その他   合計   総合評価割合   0   0   80   20   0   100   1			14週	物理 1 ガイダ	物理 1 ガイダンス、文字と単位、さまざまな力、力の図示							
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標       分類     学習内容     学習内容の到達目標       評価割合       試験     発表     レポート     小テスト     その他     合計       総合評価割合     0     0     80     20     0     100       物理やアースサイエンス、ライフサイインス、ライフサイスシス、ライフサイクの取り扱い     0     20     0     20       図学や製図とデータの取り扱い     0     0     15     0     0     15       情報倫理や情報リテラシー     0     0     20     0     20       簡単なPC操作と知りの     0     0     20     0     20       防災や環境倫理     0     0     20     0     20       数理・データサイ     0     0     0     0     0			15週									
分類     分野     学習内容     学習内容の到達目標     到達レベル     授業週       評価割合     総合評価割合     0 <td rowsp<="" td=""><td></td><td></td><td>16週</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="4"></td></td>	<td></td> <td></td> <td>16週</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="4"></td>			16週								
評価割合   試験   発表   レポート   小テスト   その他   合計   総合評価割合   0   0   80   20   0   100   1	モデルニ	]アカリ:	キュラムの	)学習内	容と到達目標							
試験 発表   レポート   小テスト   その他   合計   総合評価割合   0   0   80   20   0   100	-		分野	<u>=</u>	学習内容 学習内容	の到達目標				到達レベル 授業週		
総合評価割合 0 0 80 20 0 100	評価割合	<u> </u>					-					
物理やアースサイ エンス、ライフサ イエンス     0     20     0     0     20       図学や製図とデー タの取り扱い     0     0     15     0     0     15       情報倫理や情報リ テラシー     0     0     20     0     20       簡単なPC操作と知 的財産     0     0     20     0     20       防災や環境倫理 数理・データサイ 0     0     20     0     0     20       数理・データサイ 0     0     0     5     0     0     0								スト				
エンス, ライフサ 0     0     20     0     0     20       図学や製図とデータの取り扱い     0     0     15     0     0     15       情報倫理や情報リテラシー     0     0     20     0     20       簡単なPC操作と知的財産     0     0     20     0     20       防災や環境倫理     0     0     20     0     20       数理・データサイ     0     0     5     0     0     5			0		0	80	20		0	100		
夕の取り扱い     0     15     0     0     15       情報倫理や情報リテラシー     0     0     20     0     20       簡単なPC操作と知的財産     0     0     20     0     0     20       防災や環境倫理     0     0     20     0     0     20       数理・データサイ     0     0     0     0     0     0	エンス, ライフサ 0 イエンス		0	0		20	0		0	20		
デラシー     0     0     20     0     20       簡単なPC操作と知的財産     0     0     20     0     0     20       防災や環境倫理     0     0     20     0     0     20       数理・データサイ     0     0     0     0     0     0			0		0	15	0		0	15		
的財産     0     0     20     0     0     20       防災や環境倫理     0     0     0     0     20       数理・データサイ     0     0     0     0     0			0		0	0	20		0	20		
数理・データサイトの		操作と知	0		0	20 0			0	20		
			0	0		20	0		0	20		
					0	5	0		0	5		